

# 令和元年における労働災害発生状況

確定値

北海道労働局労働基準部安全課

# 業種別労働災害発生状況 その1

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

業種別	令和元年			平成30年			対前年		業種割合 (%)	平成30年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	62	6,681	6,743	63	6,773	6,836	-93	-1.4	100.0	63	6,773	6,836
製造業	10	1,094	1,104	11	1,191	1,202	-98	-8.2	16.4	11	1,191	1,202
食料品	2	563	565	3	614	617	-52	-8.4	8.4	3	614	617
木材・家具		98	98	1	117	118	-20	-16.9	1.5	1	117	118
紙・印刷	1	28	29		28	28	1	3.6	0.4		28	28
窯業・土石	1	43	44	2	46	48	-4	-8.3	0.7	2	46	48
金属・機械	2	173	175	2	196	198	-23	-11.6	2.6	2	196	198
その他	4	189	193	3	190	193			2.9	3	190	193
鉱業					3	3	-3	-100.0			3	3
土石採取業		24	24		18	18	6	33.3	0.4		18	18
建設業	20	918	938	17	949	966	-28	-2.9	13.9	17	949	966
土木工事業	9	270	279	9	330	339	-60	-17.7	4.1	9	330	339
建築工事業	9	405	414	5	368	373	41	11.0	6.1	5	368	373
木造建築業	1	123	124	1	130	131	-7	-5.3	1.8	1	130	131
その他	1	120	121	2	121	123	-2	-1.6	1.8	2	121	123
交通運輸事業	2	237	239		250	250	-11	-4.4	3.5		250	250
陸上貨物運送事業	6	765	771	11	828	839	-68	-8.1	11.4	11	828	839
道路貨物運送	6	719	725	11	785	796	-71	-8.9	10.8	11	785	796
陸上貨物取扱		46	46		43	43	3	7.0	0.7		43	43
港湾運送業		17	17		13	13	4	30.8	0.3		13	13
林業	8	94	102	6	84	90	12	13.3	1.5	6	84	90
水産業	1	131	132		116	116	16	13.8	2.0		116	116
商業	3	1,002	1,005	7	1,019	1,026	-21	-2.0	14.9	7	1,019	1,026
清掃・と畜業	1	422	423	3	363	366	57	15.6	6.3	3	363	366
上記以外の事業	11	1,977	1,988	8	1,939	1,947	41	2.1	29.5	8	1,939	1,947

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

## 第13次労働災害防止計画進捗状況

12月末同月比(確定)

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	81			6,676		
2年目(令和元年)	62	-19	-23.5%	6,743	67	1.0%

**第13次労働災害防止計画の目標**  
平成29年と比較して令和4年までに…  
・死亡者数を20%以上減少させる。  
・死傷者数を5%以上減少させる。

# 業種別労働災害発生状況 その2

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和元年			平成30年			対前年		業種割合 (%)	平成30年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	2	129	131	2	109	111	20	18.0	1.9	2	109	111
畜産業	3	257	260	1	266	267	-7	-2.6	3.9	1	266	267
金融・広告業		51	51		57	57	-6	-10.5	0.8		57	57
映画・演劇業		1	1		5	5	-4	-80.0	0.0		5	5
通信業		145	145		161	161	-16	-9.9	2.2		161	161
教育・研究業		77	77		52	52	25	48.1	1.1		52	52
保健衛生業		640	640	1	615	616	24	3.9	9.5	1	615	616
接客娯楽業	4	406	410	1	393	394	16	4.1	6.1	1	393	394
その他の事業	2	271	273	3	281	284	-11	-3.9	4.0	3	281	284
合計	11	1,977	1,988	8	1,939	1,947	41	2.1	29.5	8	1,939	1,947

「第三次産業」の内訳

業種別	令和元年			平成30年			対前年		業種割合 (%)	平成30年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	3	1,002	1,005	7	1,019	1,026	-21	-2.0	14.9	7	1,019	1,026
うち 小売業	2	812	814	6	841	847	-33	-3.9	12.1	6	841	847
金融・広告業		51	51		57	57	-6	-10.5	0.8		57	57
映画・演劇業		1	1		5	5	-4	-80.0	0.0		5	5
通信業		145	145		161	161	-16	-9.9	2.2		161	161
教育・研究業		77	77		52	52	25	48.1	1.1		52	52
保健・衛生業		640	640	1	615	616	24	3.9	9.5	1	615	616
うち 社会福祉施設		461	461	1	447	448	13	2.9	6.8	1	447	448
うち 医療保健業		159	159		149	149	10	6.7	2.4		149	149
接客・娯楽業	4	406	410	1	393	394	16	4.1	6.1	1	393	394
うち 飲食店		167	167		160	160	7	4.4	2.5		160	160
うち 旅館業	2	113	115		109	109	6	5.5	1.7		109	109
うち ゴルフ場	2	48	50	1	60	61	-11	-18.0	0.7	1	60	61
清掃・と畜業	1	422	423	3	363	366	57	15.6	6.3	3	363	366
その他の事業	2	271	273	3	281	284	-11	-3.9	4.0	3	281	284
うち 警備業	1	59	60	2	57	59	1	1.7	0.9	2	57	59
合計	10	3,015	3,025	15	2,946	2,961	64	2.2	44.9	15	2,946	2,961

# 令和元年における死亡災害発生状況 [速報]

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

業種	令和元年		平成30年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	62 ( 11 )	100.0	63 ( 12 )	100.0	-1	-1.6		
製造業	10 ( 1 )	16.1	11 ( )	17.5	-1	-9.1	-2	-18.2
鉱業	( )		( )			-		-
建設業	20 ( 1 )	32.3	17 ( 3 )	27.0	3	17.6	5	35.7
交通運輸事業	2 ( 1 )	3.2	( )		2	-	1	-
陸上貨物運送事業	6 ( 2 )	9.7	11 ( 4 )	17.5	-5	-45.5	-3	-42.9
港湾運送業	( )		( )			-		-
林業	8 ( 1 )	12.9	6 ( )	9.5	2	33.3	1	16.7
その他の事業	16 ( 5 )	25.8	18 ( 5 )	28.6	-2	-11.1	-2	-15.4

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の速報件数であり、昨年については集計期間中の確定件数である。

# 令和元年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

業種	令和元年		平成30年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	16 ( 5 )	100.0	18 ( 5 )	100.0	-2	-11.1	-2	-15.4
小売業	2 ( 1 )	12.5	6 ( 3 )	33.3	-4	-66.7	-2	-66.7
医療保健業	( )		( )			-		-
社会福祉施設	( )		1 ( )	5.6	-1	-100.0	-1	-100.0
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ( )	6.3	1 ( )	5.6				
ビルメンテナンス業	( )		2 ( )	11.1	-2	-100.0	-2	-100.0
ゴルフ場の事業	2 ( )	12.5	1 ( )	5.6	1	100.0	1	100.0
警備業	1 ( 1 )	6.3	2 ( 2 )	11.1	-1	-50.0		-
農業・畜産業	5 ( 1 )	31.3	3 ( )	16.7	2	66.7	1	33.3
水産業	1 ( )	6.3	( )		1	-	1	-
その他	4 ( 2 )	25.0	2 ( )	11.1	2	100.0		

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の速報件数であり、昨年については集計期間中の確定件数である。

# 令和元年 死亡災害発生状況

## 平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		その他		合計										
	製造業	うち木材木製品製造業	鉱山保安法適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他	その他														
年別																											
平成21年	3	1			30	6	1	1	1	1	5	21	69														
平成22年	5				22	15	1	3	1	11	9	27	94														
平成23年	4	1		3	10	14	1		1	5	6	21	65														
平成24年	8				27	10	1		1	4	4	28	83														
平成25年	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64														
平成26年	4			1	22	6	2			4	6	20	65														
平成27年	7			2	25	10	3	1	1	4		12	65														
平成28年	7			1	30	13	1			5	2	18	77														
平成29年	8			2	23	10	2			5	5	26	81														
区分月別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計			
平成30年	1月	2	2				1	1					1	1					1	1	5	5	9	9			
	2月		2					1	1					2						3	8	5	14				
	3月	2	4				1	2	4	5				3						8	8	22					
	4月	1	5					2	1	6				3						1	9	3	25				
	5月	1	6					2	1	7				3						1	10	3	28				
	6月		6					2		7				3							10		28				
	7月	1	7				6	8	1	8				3						2	12	10	38				
	8月	2	9				1	9	1	9				3						1	13	5	43				
	9月		9				2	11		9				3						2	15	5	48				
	10月	1	10				1	12	1	10				4							15	4	52				
	11月	1	11	1	1		2	14	1	11				5							15	5	57				
	12月		11		1		3	17		11				6						3	18	6	63				
平成31年	1月	1	1				3	3												1	1	5	5				
	2月	1	2				3	6	1	1										1	2	6	11				
	3月	1	3				1	7	2	3				1	1					3	5	8	19				
	4月	1	4				1	8	1	4				2	2					1	6	5	24				
	5月		4				1	9		4				4	4					1	7	4	28				
	6月		4				1	10		4				6	6					2	9	5	33				
	7月		4				1	11	1	5	1	1		7	7					1	10	5	38				
	8月	1	5					11		5		1		7	7					1	11	2	40				
	9月	1	6				2	13		5		1		7	7						11	3	43				
	10月	2	8				3	16	1	6		1		7	7					2	13	8	51				
	11月	1	9				2	18		6	1	2		7	7					2	15	7	58				
	12月	1	10				2	20		6		2		8	8					1	15	4	62				
対前年比	件数	1	-1	±0	-1	±0	±0	±0	±0	-1	3	±0	-5	±0	2	±0	±0	±0	±0	1	2	±0	1	-3	-3	-2	-1
	百分率	-	-9.1	±0	-100.0	±0	±0	±0	±0	-33.3	17.6	±0	-45.5	±0	-	±0	±0	±0	±0	-	33.3	±0	-	-100.0	-16.7	-33.3	-1.6

# 令和元年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号																											
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他	計	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99			
事故の型	製業	鉱山業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他	起	原	動	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	39	41	51	52	61	71	91	92	99
	造業	山業	採	設	物	の	取	送		産	の	因	機	機	材	設	属	般	両	カ	力		力	学	接	・	気	機	機	そ	仮	危	材	荷	自	そ	起	分
1 墜落、転落	2			8					3		3	16						1			2							1		9		1	2					
2 転倒											2	2				1		1																				
3 激突																																						
4 飛来、落下	1			2	1						2	6								3								1						1	1			
5 崩壊、倒壊				5	1				1			7			1														2			1	3					
6 激突され				2					3			5			1					1														3				
7 はさまれ、巻き込まれ	4			1	1					1	3	10			1		1	1	1	1	5						1											
8 切れ、こすれ																																						
9 踏抜き																																						
10 おぼれ	1											1																		1								
11 高温、低温の物との接触						1						1											1															
12 有害物等との接触																																						
13 感電																																						
14 爆発																																						
15 破裂																																						
16 火災																																						
17 交通事故(道路)	1			1	2	1			1		5	11									4	7																
18 交通事故(その他)																																						
19 動作の反動・無理な動作																																						
90 その他	1			1	1							3																										3
99 分類不能																																						
合計	10			20	6	2			8	1	15	62			4		2	2	5	9	9			1			2	1	1	11		1	4	7		3		

# 令和元年 署別・業種別死亡災害発生状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1					1				2			4
札幌東						2	1					1	4
函館					2					1		1	4
小樽	1				1	1							3
岩見沢	1									1			2
旭川	2				1							4	7
帯広	2				3	2	1			3		2	13
滝川					4								4
北見					2					1			3
室蘭	1				1								2
釧路					2						1	3	6
名寄					1								1
留萌					1								1
稚内					1							1	2
浦河												2	2
苫小牧	2				1								3
倶知安												1	1
計	10				20	6	2			8	1	15	62



# 令和元年 署別・業種別死傷災害発生状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交通運輸事業	陸上貨物運送事業			港湾運送業	林業	水産業	商 業		社会福祉施設	飲食店	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率		
		計	食品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業		その他建設業	計	道路貨物運送業				陸上貨物取扱業	計						小売業	その他商業
札幌中央	1,067	98	47	6	6	18	21		1	129	32	44	16	37	72	132	121	11		1		187	146	41	83	49	102	213		
	1,138	100	55	4	7	1	18	15	2	117	20	64	13	20	68	141	130	11		6		240	188	52	89	41	105	229	6.7%	
札幌東	1,368	236	132	8	9	3	56	28		163	52	77	6	28	83	238	214	24		2		244	199	45	108	47	64	183		
	1,377	214	114	7	3	3	45	42		193	42	95	13	43	80	215	194	21				244	193	51	114	41	93	183	0.7%	
函館	508	117	69	10		4	17	17	2	81	27	26	23	5	10	44	42	2		8	15	77	67	10	31	12	26	85		
	439	87	55	10		3	13	6	3	75	25	36	8	6	15	39	37	2		5	24	49	37	12	35	10	31	66	-13.6%	
小樽	228	72	46	5			10	11		19	6	8	4	1	5	27	27		1		1	25	23	2	21	3	8	46		
	217	45	27	3	1		6	8		21	7	8	4	2	5	16	14	2	1	1	2	34	33	1	18	4	24	46	-4.8%	
岩見沢	217	48	18	2	1	7	9	11	1	44	21	8	11	4	7	21	21			1		26	24	2	17	2	6	44		
	232	41	14	2	2	6	8	9	2	39	15	5	15	4	6	20	20			4		25	22	3	15	3	20	57	6.9%	
旭川	582	102	41	20	5	5	16	15	2	105	41	44	9	11	13	75	74	1		6		94	83	11	39	12	30	104		
	564	92	38	24	4	4	6	16	4	80	23	36	12	9	11	66	66			4		103	88	15	42	18	35	109	-3.1%	
帯広	515	100	69	6	2	5	7	11	4	78	36	21	16	5	6	66	65	1	2	20	2	63	51	12	26	5	26	117		
	518	88	51	6	2	5	11	13	3	75	22	33	9	11	8	57	55	2	2	27		65	51	14	22	11	19	141	0.6%	
滝川	146	28	9	4		1	3	11		23	11	10	2		6	11	10	1		3		28	26	2	12	3	8	24		
	176	40	11	6	1	1	10	11	1	37	27	9		1	2	17	16	1		1		19	14	5	12	3	11	33	20.5%	
北見	332	70	34	20		3	8	5	1	60	19	26	6	9	7	32	32			7	18	38	30	8	18	4	15	62		
	344	80	52	16		2	5	5	1	55	17	23	13	2	5	37	35	2		18	26	28	26	2	20	3	13	58	3.6%	
室蘭	235	31	11			1	17	2		36	10	21	3	2	11	14	14		1	1	3	43	37	6	19	4	19	53		
	214	21	5			1	11	4		39	10	17	4	8	6	17	17			1		39	31	8	20	10	18	43	-8.9%	
釧路	503	102	55	11	3	4	13	16	3	72	23	34	10	5	9	48	48			2	12	43	74	66	8	22	3	22	90	
	448	91	51	5	1	3	14	17	2	60	13	27	12	8	6	45	45		4	9	33	61	51	10	27	4	22	84	-10.9%	
名寄	140	37	15	16		2		4	3	23	8	12	3		3	12	11	1		6	6	13	13		2		6	29		
	143	38	17	7	3	2	2	7	3	17	7	6	4		3	8	7	1		5	18	14	13	1	6	2	1	28	2.1%	
留萌	49	12	10					2		9	3	3	3			8	8				1	6	6		2		3	8		
	53	12	6				2	4		12	6	5		1	1	2	2					5	4	3	1	2		4	11	8.2%
稚内	120	28	23	1		1	1	2	1	20	13	7			1	16	15	1		3	7	12	9	3	9		3	20		
	108	20	12	1			4	3		19	8	9	1	1	1	8	8			9	11	9	9		2	1	3	25	-10.0%	
浦河	169	9	3	2			1	3	1	15	11	3		1		7	7			5	16	5	4	1	5	1	1	104		
	163	8	3	1			1	3	2	10	3	5	2			2	2			6	10	4	3	1	4	1	3	113	-3.6%	
苫小牧	523	96	21	6	2	12	22	33		66	19	20	13	14	15	84	83	1	7	8	1	71	53	18	27	12	23	113		
	494	110	42	6	4	11	20	27	1	59	21	21	12	5	20	77	73	4	10	3	1	54	45	9	31	13	19	96	-5.5%	
倶知安	134	16	14	1				1	1	23	7	9	6	1	2	4	4			7	3	20	10	10	7	3	4	44		
	115	17	12		2	1		2		30	13	15	2		2	4	4			3	2	13	7	6	2	2	2	38	-14.2%	
合計	6,836	1,202	617	118	28	48	198	193	3	18	966	339	373	131	123	250	839	796	43	13	90	116	1,026	847	179	448	160	366	1,339	
	6,743	1,104	565	98	30	44	175	192	24	938	279	414	124	121	239	771	725	46	17	102	132	1,005	814	191	461	167	423	1,360	-1.4%	
対前年比増減率	-1.4%	-8.2%	-8.4%	-16.9%	7.1%	-8.3%	-11.6%	-0.5%	-100.0%	33.3%	-2.9%	-17.7%	11.0%	-5.3%	-1.6%	-4.4%	-8.1%	-8.9%	7.0%	30.8%	13.3%	13.8%	-2.0%	-3.9%	6.7%	2.9%	4.4%	15.6%	1.6%	

(注)本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

令和元年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日(確定)

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		1		2		3		4		5		6-2	7-2	起因物番号	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99																											
	業	種	製	業	鉱	業	土	業	建	業	道	業	陸	業																												港	業	林	業	水	業	そ	業	起	原	動	機	材	機	設	機	金	機	一	機	車	動	機	動	機	乗	力
1	墜落・転落	112		10	328	214	17	12	4	9	10	473	1189					24		11	3	16	247	25						3	317	19	432		6	22	63		1																													
2	転倒	290		2	139	146	87	10	5	13	23	1,209	1924				6	1	10	1	1	43	46	1		1		4	54	114	27	867		24	42	619	10	53																														
3	激突	43		1	29	43	11	2		2	13	166	310				2	5		6		4	46	31					20	32	22	87		10	12	24	3	6																														
4	飛来・落下	67		1	86	24		1		14	11	90	294				6	7	3	17	1	10	6	3			1		17	46	9	9		82	59	16	1	1																														
5	崩壊・倒壊	20			28	18	1	2		3	1	16	89				1	2		1			3	1					11	11	1	12		25	14	7																																
6	激突され	48		1	43	36	5	1		28	7	200	369				6	11	1	13	4	16	45	17					37	28	10	14		16	17	117	7	9	1																													
7	はさまれ・巻き込まれ	265		6	94	81	11	7	6	6	43	248	767	1	16	14	30	41	170	5	30	136	40						61	47	15	36		32	37	55	1																															
8	切れ・こすれ	113		2	60	6	1	1		17	1	170	371			1	75		14	78		1	2	1					115	32	5	3		29	11	3	1																															
9	踏抜き				3							1	4																			2		2																																		
10	おぼれ	1											1																		1																																					
11	高温・低温の物との接触	31			8	2	1			1	2	69	114							2	1	1					1	2	7		3	19	21	3	5	10		37	2																													
12	有害物等との接触	1			6						1	10	18							1								1		2		10				3																																
13	感電				1							1	2															2																																								
14	爆発	1										1	2															1																																								
15	破裂	1					1						2													1				1																																						
16	火災				1							3	4											1																																												
17	交通事故(道路)	20			56	53	70			7	1	148	355										65	278					2						1			9																														
18	交通事故(その他)								1		6	3	10											10																																												
19	動作の反動・無理な動作	88		1	53	99	32	10	1	1	13	587	885			1	2	1	5			4	25	18				1	25	29	13	191		23	145	132	27	243																														
90	その他	3			3	3	2			1		21	33																				1			8	14	10																														
99	分類不能																																																																			
	合計	1104		24	938	725	239	46	17	102	132	3416	6743	1	17	105	87	61	314	15	83	618	471	2	1	9	7	7	348	677	145	1656	16	261	359	1093	66	323	1																													

# 令和元年(平成31年) 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
31	1	16時台	製鉄・製鋼・ 圧延業	100人以上 299人	巻き込まれ・ はさまれ	動力クレーン等 2 1 1	被災者は、製鋼工場内において同僚2名とともに天井クレーンを用いてスラグ(鉱石)の搬出作業を行っていたとき、約8tのスラグの入った鉄製バック(約5t)にワイヤロープを2点掛けし天井クレーンで吊り上げたところ、鉄製バックが横に振れたため、同バックと別の鉄製バックの間にはさまれたもの。
31	2	14時台	その他の製造業	50人以上 99人	墜落・転落	荷 6 1 1	被災者は、工場敷地内の原料保管庫において、フォークリフトを使用してコンテナに入っている小豆を別のコンテナに移し替える作業を行う際に、移し替えるコンテナ上に上がっていたところ、同コンテナ内に転落し小豆に埋まったもの。
31	4	9時台	金属製品製造業	10人以上 29人	墜落・転落	材料 5 2 1	被災者1人で工場兼倉庫の屋根の補修作業中、作業床に利用していたコイル状に巻いた鉄筋材(高さ1.6m)から転落していたところを発見されたもの。
元	8	14時台	食品製造業	10人以上 29人	巻き込まれ・ はさまれ	一般動力機械 1 6 5	被災者は、棒状に成形された餡を送給しながら球状にカットする機械のローラーが詰まったので、工具を用いて取り除いていたところ、回転羽に上衣のポケットが巻き込まれ、首が絞められた状態となったもの。
元	9	15時台	食品製造業	100人以上 299人	飛来・落下	荷姿の物 6 1 1	被災者は、フォークリフトを使用して、玄米1080kgの入ったパレット積みのフレキシブルコンテナ(以下フレコン)の積み替え作業中、2段積みのフレコンの下段のフレコンに空いた穴から玄米が漏れ、フレコンが変形したことから穴を塞ごうとしていた被災者の上に、上段のフレコンが落下したもの。
元	10	17時台	パルプ・紙製造業	100人以上 299人	おぼれ	その他の装置・設備 3 9 1	被災者はパルパータンク(W1.3m×D1.3m×H3.0m)の側面に立ち、ワゴンをリフトで傾けてタンク天板開口部から半端紙を投入する装置の操作及び開口部から攪拌状態を確認する作業を一人で行っていたところ、タンク内に墜落したものの。
元	10	13時台	クリーニング業	100人以上 299人	交通事故(道路)	乗物 2 2 1	被災者はホテル等で回収したリネン類を積み、トラック(4t、箱車)で国道を走行中、片側通行規制のために停車していた大型トラックに追突したものの。

# 令和元年(平成31年) 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
元	11	10時台	窯業土石製品製造業	10人以上 29人	巻き込まれ・はさまれ	動力運搬機 2 2 2	フォークリフト(最大荷重3.5t)でコンクリートホッパーを「鋼製型枠」に向けて前進で移動中、工場内において床の掃除をしていた被災者が、フォークリフトの下部に巻き込まれたもの。
元	12	7時台	その他の製造業	30人以上 49人	巻き込まれ・はさまれ	建設用等機械 1 4 1	牛の飼料生産受託先の敷地内において、トラクター・ショベルでバンカーサイロの飼料をならしていた際、近くにいた被災者がよるめき、後頭部から地面に倒れたため、ブレーキが間に合わず、トラクター・ショベルの右前輪に轢かれたもの。

# 令和元年(平成31年) 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
31	1	11時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	仮設物・建築物・構築物 4 1 8	被災者は、法面の補修工事現場において、クレーン作業を一時中断して運転席から降りて待機していたところ、コンクリート擁壁に仮置きしていた重量約2.1tの削孔機が倒れ、同削孔機とエアークンプレッサにはさまれたもの。
31	1	11時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物 4 1 5	被災者は、木造2階建て住宅の新築工事現場において、高さ約5.8mの屋根の梁(幅10cm)の上で母屋材を配置していたところ、1階床(木板)に墜落したものの。
31	1	11時台	土木工事業	10人以上29人	巻き込まれ・はさまれ	車両系木材伐出機械等 1 7 1	被災者は、木材グラブ機を操作して工事現場の伐開に伴い発生した枝条を集積作業中、枝が重機キャビンのガラスに当たって割れ、運転席の窓の下に置いていた日報等が落ちてブームの根元に引っかかり、それを取ろうとキャビンから身体を乗り出した際、運転席右側のブームの操作レバーに被災者の身体の一部が当たり、ブームが動いたため、ブームの油圧シリンダーとキャビンに挟まれて死亡したものの。
31	2	11時台	建築工事業	30人以上49人	飛来・落下	動力クレーン等 2 1 2	被災者は、サイロ増設工事現場において、設置された外部足場13層目の作業床で足場から身をのりだして外壁にトタンを貼る作業を行っていたところ、別業者の作業員が運転する移動式クレーンが吊っていた床材(鋼製 長さ約2m、幅約30cm、重さ約25kg)1枚が被災者の頭上から落下したものの。
31	2	11時台	土木工事業	10人以上29人	激突され	動力クレーン等 2 1 2	被災者は、砂防工事現場において車両積載型クレーンを使用して、工事用道路で使用した敷鉄板の搬出作業中において敷鉄板を吊っていたとき、同クレーンのジブ根本部分の巻上用ドラムがずれ、ドラムの歯車が外れたため、敷鉄板が被災者の上に落下したものの。
31	3	10時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物 4 1 5	被災者は、高さ273cm、長さ378cm、幅23.5cmのうま足場上で、農業倉庫のシャッター修理作業中に墜落したものの。
31	4	14時台	建築工事業	10人以上29人	墜落・転落	荷 6 1 1	自社の資材センター内で、型枠工事に使用する単管パイプ(直径:4.6cm、長さ:3.5m)が積み上げられた高さ2mを超える場所において、数十本ごとにチェーンで結束された単管を、チェーンを外さずに一本ずつ引き抜き、上から下へおろしていた際に、被災者が自重で傾いた単管に押し上げられ、墜落したものの。

# 令和元年(平成31年) 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
元	5	8時台	建築工事業	10人未満	飛来・落下	動力クレーン等 2 1 2	倉庫解体工事現場において、被災者一人で歩道の敷鉄板を積載型小型移動式クレーン(つり上げ荷重2.93t)を用いて当該クレーンの荷台に積み込む作業を行っていた。敷鉄板積み作業場所から「ドン」と音がしたので、廃材の仕分け作業を行っていた別の作業員が音のした方を振り向いたところ、被災者が敷鉄板1枚(縦1.53m、横3.05m、重量約800kg)の下敷きになっていたもの。
元	6	13時台	建築工事業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物 4 1 5	被災者は、バイオガスプラントの新設工事現場において、同僚3名と共に木造の固形物乾燥室の柱と梁の建方作業に従事していた。同僚が被災者が一側足場の1層目(高さ2.17m)を歩行しているのを見かけたあと、大きな音がしたので確認したところ、被災者が顔面から出血して足場下のコンクリート床に倒れていたもの。
元	7	13時台	土木工事業	10人未満	崩壊・倒壊	仮設物・建築物・構築物 4 1 5	作業員3名で、幅約1.2m、深さ約1.6mの用水路脇の草刈り作業を行っていたところ用水路の中でコンクリート製の蓋(幅0.4m×長さ1.9m×厚さ0.16m、重さ約280kg)の下敷きになった被災者が発見された。
元	9	8時台	建築工事業	10人未満	激突され	その他の建設機械等 1 4 9	被災者は、鉄塔の基礎コンクリート打設作業に立ち会っていたところ、根掘部の法肩が崩れたため、コンクリート打設用の自動生コンホッパーアタッチメントを取り付けたドラグショベルが転倒、被災者にドラグショベルのアタッチメント部分が激突したもの。
元	9	10時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物 4 1 8	被災者は、液化ガスの受入配管の鋼製トラス構造架台の塗装作業現場において、作業箇所への移動中に当該架台(高さ5.5m)から墜落したもの。
元	10	16時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等 7 1 1	農業用水路配管(塩ビ管、L=5m、250mm)を布設するため、ドラグショベルで、溝(H=2.7m×L=3m、W=1m、勾配75~78度)を掘削し、労働者2名で掘削溝の底をスコップで床均し及び計測を行っていたところ、当該配管を埋めるために堆積していた掘削土と掘削面の一部が崩壊し、当該作業を行っていた被災者が生き埋めとなったもの。
元	10	16時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等 7 1 1	同上

# 令和元年(平成31年) 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
元	10	14時台	その他の建設業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等 414	被災者の上司がタイヤ交換作業のため、自社工場内の倉庫に入ったところ、頭から出血した被災者が1階コンクリート床にうつ伏せで倒れていたもの。 なお、被災者が倒れていた上方の2階床は開口となっており、保護帽及び墜落制止用器具は未着用であった。
元	11	13時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物 418	被災者は、屋上パラペットの仮設の手すり(高さ約30cm)を取り外し、パラペット付近の除雪作業を行っていたところ、約12m下のアスファルト路面に墜落したもの。 保護帽は着用していたが親綱等の設置は無く、安全帯は着用していたものの使用はしていない。
元	11	3時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物 411	被災者は、鉄道の橋梁アーチ部の塗装工事のために使用していた吊足場の解体作業中、高さ約7m地点の作業床から墜落したもの。
元	12	11時台	土木工事業	30人以上49人	交通事故(道路)	動力運搬機 221	被災者は交通規制がされていない国道上において、道路脇の現場を写真撮影中、約100m離れた場所へ移動するために道路上をバックで走行してきた貨物自動車(4tダンプ)に轢かれたもの。
元	12	9時台	土木工事業	10人未満	崩壊・倒壊	仮設物・建築物・構築物等 419	被災者は橋台等の補修工事において、橋桁の下にベントを組み立てるため、25tクレーンでベント2節目(高さ7.8m、重量約3t)を降ろした後、油圧ジャッキでベントの高さを調整中に当該ベントが倒れ、下敷きとなったもの。

# 令和元年(平成31年) 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
31	2	13時台	道路貨物運送業	10人以上29人	巻き込まれ・はさまれ	人力機械・工具等 3 6 2	被災者は、配送先の工場において、4tトラックの荷台から卵(10kg×30箱)の入ったロールボックスパレットを下ろそうとしたところ、同ロールボックスパレットが倒れたためその下敷きとなり床とロールボックスパレットにはさまれたもの。
31	3	13時台	道路貨物運送業	10人以上29人	飛来・落下	動力クレーン等 2 1 2	被災者は、携帯電話基地局に使用されていた電柱(長さ15m、重量約2.2t)を車両積載形トラッククレーン(つり上げ荷重:2.93t)に積み込む作業中、荷台前方の鳥居部の助手席側に電柱の先端を一旦載せ、鳥居部の運転席側に電柱先端部をずらそうと荷台上でリモコンを操作し、ジブを伸ばして荷台後方に電柱を引いたところ、鳥居部から電柱の先端が落ち、過荷重でジブが折れ、電柱が被災者の上に落下したもの。
31	3	8時台	道路貨物運送業	50人以上99人	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は会議に出席するため、軽自動車を運転して高速道路を走行中、トンネル出口付近で対向してきたRV車がセンターラインを超えて進入し、正面衝突したもの。
31	4	5時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故(道路)	乗物 2 2 1	被災者は、牛を積み込むために家畜車(最大積載量12.6t)を運転して国道を走行していたところ、交差点で信号待ちをしていたトレーラーに追突したものの。
元	7	9時台	道路貨物運送業	50人以上99人	崩壊・倒壊	荷姿の物 6 1 1	客先の牧場において、被災者と同僚の合計2名で、トレーラーのコンテナから牧草の荷卸し作業を行っていた。 荷は直方体の牧草(88cm×125cm×130cm、重さ500kg)が2段積みされており、下段にワイヤロープが付いたフックを打ち込み、フォークリフトでワイヤロープを引っ張って引き出していたところ、崩れそうになった上段の牧草を被災者が支えようと近づいた際、うつ伏せに転倒し、その上に牧草が落下したものの。



# 令和元年(平成31年) 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
31	3	15時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 7 1 2	民有林皆伐現場において、胸高直径28センチ、長さ約17mのトドマツをチェーンソーで伐倒作業中、くさびを打って伐倒木が倒れていくときに、臺が上部で絡んでいた為に、伐倒方向が変わり、近くで同じくチェーンソー伐倒作業中の被災者の頭部に直撃したものの。
31	4	11時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 7 1 2	被災者は、民有林内にて同僚1名とともに、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていた。被災者が扱っていたチェーンソーの音が聞こえなかったため同僚が捜索したところ、仰向けの状態でクルミの木(胸高直径30cm)の下敷きになっているところを発見したものの。
元	5	15時台	林業	10人以上 29人	交通事故(道路)	乗物 2 3 2	被災者は、道有林の造林現場で当日の作業を終え、帰社するため乗用車で国道を走行していたところ、右側の町道から飛び出してきた来た乗用車が運転席に衝突したものの。なお、助手席の同僚は軽傷。
元	5	14時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 7 1 2	民有林の皆伐作業現場において、被災者はチェーンソーを用いて伐倒作業中、ナナカマドの木を伐倒したところ、当該伐倒木が被災者側に倒れてきて、被災者の腹部に激突したものの。被災者に激突した伐倒木の胸高直径は18.5cm、樹高16.6mであった。また、伐根に切り残しは無かった。
元	6	14時台	林業	10人未満	墜落・転落	乗物 2 3 2	国有林の間伐作業現場において伐倒作業を行うための道付け作業中、被災者2名が事前調査のため乗用車に乗り林道を走行していたところ、幅約4mの緩やかな左カーブに差し掛かった際、当該車両が道路右脇に逸脱し勾配約50°の崖を約47m転落したものの。被災者は車外に投げ出され、斜面の中腹と転落した車両の脇でそれぞれ倒れているところを下請事業場の労働者に発見された。(被災者は、車両を運転していた。)
元	6	14時台	林業	10人未満	墜落・転落	乗物 2 3 2	同上 (被災者は、助手席に同乗していた。)
元	7	15時台	林業	10人未満	墜落・転落	伐木等機械 1 7 1	被災者は、国有林内において、掘削バケットが付いた車両系木材伐出機械(伐木等機械/フェラーパンチャ)を操作して、支障木を伐倒しながら作業道の造成作業を行っていたところ、勾配約40度の斜面から機械ごと20m程滑り落ち、転落したものの。 被災者は地面と機械のキャビンにはさまれた状態で発見された。

# 令和元年(平成31年) 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
元	12	11時台	林業	10人未満	崩壊・倒壊	環7 境1 等2	被災者は民有林の間伐作業において、かかり木から8m離れたところで、チェーンソーを使用して樹高2.6mのカラマツの伐木作業中に倒れてきたかかり木(カラマツ、樹高2.7m、胸高直径30cm)の下敷きとなったもの。

# 令和元年(平成31年) その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
31	1	21時台	畜産業	10人以上 29人	巻き込まれ	動力運搬機	被災者は、牛舎内において除糞作業に従事していたところ、糞尿を流し込む溝(幅40cm、深さ40cm)に設けられている金属製のスクリーコンベア(径30cm)に右半身を巻き込まれている状態で発見されたもの。
31	2	12時台	小売業	10人以上 29人	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物	被災者は、軒高約3.6mの自社倉庫の屋根の上において除雪作業をしていたところ、除雪作業をしていた屋根の下で雪に埋まった状態で発見されたもの。
31	3	10時台	旅館業	30人以上 49人	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物	被災者は、ホテルのエントランスの屋根に上がり、スコップで雪庇を落としていたところ、上方の屋根(三角)に積もった雪が滑り落ちてきて、これに巻き込まれ、約7m下の地面に墜落したもの。
31	3	11時台	その他の商業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は、マンションの2階エレベーターホール天井(高さ2.64m)のLED電球交換作業時に脚立(高さ1.17m)から転落、頭部を打ったもの。
元	3	10時台	農業	10人未満	転倒	建設機械等	被災者は、牧場跡地でD型ハウスの解体資材を運搬するため、ドラグショベルを運転して敷地内の溜池の縁を移動していたところ、地面と溜池との境界が草や氷で覆われていたため、ドラグショベルが運転席側から溜池に横転して水没したもの。
31	4	17時台	接客娯楽業	30人以上 49人	転倒	その他の一般動力機械	被災者含む3名は、ゴルフコース内の芝生の整備作業を終え、先に同僚の2名は小型ダンプで管理棟へ戻ったが、芝生整備機械(乗用グリーンシア)を運転していた被災者の戻りが遅いことから探したところ、コースの斜面(傾斜約21度)の下で当該機械(車重820キログラム)の下敷きになった被災者を発見した。
元	5	10時台	その他の事業	50人以上 99人	交通事故(道路)	乗物	被災者は、会議に出席するため、自家用車で自動車専用道を走行していたところ、片側1車線のトンネル内において、対向車線を走行していたワゴン車が前方の乗用車を左側(路側帯側)から追い抜こうとした際に乗用車の左側面と接触、弾みでトンネルの路肩部にぶつかった後、対向車線にはみ出して被災者が運転する車と正面衝突したもの。

# 令和元年(平成31年) その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
元	6	16時台	清掃・と畜業	10人以上 29人	巻き込まれ	動力運搬機	被災者は、フォークリフトを使用して鉄の廃材を運搬する業務を行っていたところ、廃材のツルハシの金属部がバックレストの下部に引っかかっていることに気づいたため、フォークを上げてバックレストの下部に入り込み、ツルハシを引き抜いたところ、フォークが降下し、被災者の頭部がバックレスト部と地面との間に挟まれたもの。
元	6	6時台	畜産業	10人以上 29人	飛来・落下	人力機械工具等	被災者は、木製の門型のつり上げ装置(手動チェーンブロック、ワイヤロープ、滑車等により構成されたもの)を用いて馬運車(4t平ボディトラックに金属製の箱を載せたもの)から箱を降ろす作業に従事していたところ、吊元部分の金具が梁から抜け、箱全体が約1.2m落下、反動で箱の下に敷こうとしていた角パイプが折れ曲がり被災者に激突し、跳ね飛ばされた被災者が後頭部から地面に倒れたもの。
元	7	11時台	道路旅客運送業	100人以上 299人	交通事故(道路)	乗物	被災者は乗客を降ろした後、道道を走行中、信号のある交差点で、ハンドル操作を誤って中央分離帯に衝突したもの。
元	7	15時台	その他の事業	50人以上 99人	交通事故(道路)	乗物	被災者は国道の覆道工事現場において、片側交互通行規制の交通誘導中に停止の合図を無視してきた一般車両に轢かれたもの。(入院加療中であったが、約5か月後に死亡したもの。)
元	8	16時台	畜産業	10人以上 29人	交通事故(道路)	動力運搬機	トラックで道道を走行中、緩い左カーブを曲がりきれず、対向車線側の路外へ逸脱して死亡したもの。
元	10	16時台	ゴルフ場	50人以上 99人	飛来・落下	環境等	被災者等7名はカシワの木(伐根直径57cm)をチェーンソーで伐倒し、1m程度に玉切りしてダンプに積み込んでいた。伐倒の際、伐倒木の枝(直径約20cm)が地面に刺さり、幹が地面より70~80cm浮いた状態であった。安定させて玉切りするため、同僚が当該枝をチェーンソーで切断しても伐倒木に動きはなかったので、被災者が伐倒木の浮いた空間に入り枝を蹴ったところ、幹が落下し下敷きとなったもの。
元	10	15時台	農業	10人以上 29人	巻き込まれ	動力運搬機	被災者は農作業等の受託先の敷地内で、側溝の清掃作業を終え、作業現場から300m程度離れた詰所に戻るため、フォークリフトのフォーク部分に乗車し、移動中にフォークから転落し、フォークリフトの後輪に頭部を轢かれたもの。

# 令和元年(平成31年) その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
元	11	11時台	水産業	10人未満	巻き込まれ	動力運搬機	被災者は、漁船(8.5t)左舷前方にて漁網を取り込む機械(2つのドラムが逆方向に回転し、ドラム間に網等を挟み、巻き上げるもの)を操作し、ロープを巻き上げていたところ、ドラムとドラムの間に左脇から腰部を挟まれたもの。
元	11	14時台	旅館業	10人未満	交通事故(道路)	乗物	被災者は、帰社するため事業主が所有する乗用車で道道を走行していたところ、対向車線にはみ出し、対向車と正面衝突したもの。 当時、現場の路面は数cmの積雪がある状況だった。
元	11	17時台	小売業	10人以上29人	交通事故(道路)	乗物	被災者は研修に参加した後、自宅に帰宅するため、親族の運転する自家用車の助手席に乗車し、高速道路を走行中、路面凍結によりスリップし左側ガードロープに衝突、その弾みで片側2車線の中央に停止したところ、後方より走行してきた大型観光バスに追突されたもの。
元	11	8時台	道路旅客運送業	10人以上29人	高温・低温の接触	溶接装置	被災者は整備工場内において、除雪に使用するトラクター・ショベルのバケット部分に雪を削るための部品を取り付けるため、アーク溶接作業中に溶接の火花が着用していたツナギに飛び火して全身に火傷を負ったもの。

## 死亡労働災害の概要(令和2年3月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
							当月把握分の死亡労働災害はありません。

# 平成31/令和元年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局【確定】

	発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	災害の状況
1	31	1	11時台	一般飲食店	10人未満	<p>代表者が1階の厨房において、寒さのため換気扇を稼働させずにコンロ、ガステーブル、フライヤー等を使用して調理を行っていたところ、2階の客席において開店準備、清掃作業を行っていた被災者が体調不良を訴えて救急搬送され、一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
2	31	2	13時台	機械器具設置工事業	10人以上 30人未満	<p>共同住宅玄関の風除室内にエンジン式発電機を設置して作業員3名が玄関内の半地下ピットで水道管工事をしていたところ、3名全員が一酸化炭素中毒により意識を失い救急搬送されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者3人(休業4日以上)]</p>
3	31	4	10時台	ビルメンテナンス業	50人以上 100人未満	<p>温水プール施設において、シャワー室の床をエンジン付きの高圧洗浄機及びプロアーで清掃していたところ、2名の労働者が体調不良を訴えて救急搬送され、一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者2人(休業4日未満)]</p>
4	31	4	10時台	ビルメンテナンス業	100人以上	<p>温水プール施設において、別事業場の労働者がシャワー室の床をエンジン付きの高圧洗浄機及びプロアーで清掃していたところ、廊下の窓ガラス清掃を行っていた労働者1名が体調不良を訴えて救急搬送され、一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
5	元	5	10時台	建築設備工事業	10人未満	<p>飲食店排水管修理工事において、事務所1階の室内でコンクリート床を剥がすため、エンジン式コンクリートカッターで切断作業中、排気ガスを吸い込んだ労働者が体調不良を訴えて救急搬送され、一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日未満)]</p>
6	元	7	9時台	機械器具設置工事業	10人未満	<p>深さ1.2mの縦穴のガス管入替え工事現場において、代表者が配管の取換え作業中に体調不良を訴えたため、被災者が救助のため縦穴に入ったところ、配管から漏れ出たLPガスに置換された酸欠空気を吸い込み、意識を失い救急搬送されたもの。</p> <p>[酸素欠乏症:被災者1人(休業4日未満)]</p>
7	元	8	15時台	畜産業	10人以上 50人未満	<p>養豚場のし尿処理設備において、深さ4mのし尿槽から原尿を汲み上げるポンプの配管に亀裂が入ったため、槽内から原尿を抜き、被災者が配管を交換するため上部マンホールからはしごを用いて槽内に降りたところ、硫化水素中毒により意識を失い救急搬送されたもの。</p> <p>[硫化水素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
8	元	11	13時台	ビルメンテナンス業	10人未満	<p>客先社宅の清掃作業現場において、昼休憩中に閉め切った屋内でエンジン式発電機を稼働させてお湯を沸かしたまま、作業員3名は社宅を離れた。午後から現場に戻り発電機を屋外で稼働させ、窓を開けて清掃作業を再開し、約40分後、1名が体調不良を訴えたため、3名全員が病院で受診し、一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者3人(休業4日未満)]</p>

## 平成31/令和元年 有害物質による急性中毒等発生状況

発生年	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況
9	元	11	13時台	美容業 10人未満	<p>ビル3階に入居する美容室の給湯用ボイラーの排気口が、隣接ビルの解体工事現場から落下した瓦礫の激突により破損閉塞し、燃焼ガスが店内に滞留したため、労働者5名が一酸化炭素中毒により体調不良を訴え病院搬送されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者5人(休業4日以上1人、休業4日未満2人、不休2人)]</p>
合計		発生件数	9	内訳	一酸化炭素中毒 7 件 硫化水素中毒 1 件 酸素欠乏症 1 件 その他の中毒 0 件
		被災者数	18	内訳	死 亡 0 人 休業4日以上 7 人 休業4日未満 9 人 不 休 2 人